【胃重複症の1症例/久留米大】

2歳までに60%が発症する

精査はなし

小腸重複症が35-53%を占めて最も多い

胃重複症は3-8%

重複腸管の粘膜は近接した臓器と同じことが多い

呼吸器や離れた腸管の粘膜を有することがある

* 重複腸管の定義

平滑筋に覆われていること

内面に消化管粘膜を有すること

消化管のある部分に密着して存在すること

【膵との交通により膵炎を繰り返した胃腸複症の1例/天理よろづ】

* 発生部位

回盲部：30.8%、大腸 22.8%、小腸 18.3%、食道 10%、胃 6.6%

* 重複胃の発生部位

幽門部大彎：27.8%、体部大彎：13.9%、前庭部大弯：11.1%

20歳以下で発症するのが70%

膵炎を合併する

重複胃内に異所性膵組織を伴ったもの

重複胃に膵管が直接交通を持ったもの

診断までに平均2回の手術が行われている

術前診断はかなり難しい

99mTc シンチグラフィーは異所性胃粘膜の検出率が85%と効率

【慢性膵炎を合併した胃重複症】

仮性膵嚢胞との鑑別が困難な場合もある

超音波などで腸管の三層構造などを同定する

胃腸複症70例の本邦報告例で2例が癌化